資料編

1 市民インタビュー結果

(1)調査の概要

目的	対象者	把握したい内容
本計画策定のためのアンケート	40~50 歳代女性	がん検診の受診状況や地域と
調査結果の補完		のつながりの実態等
(アンケート調査結果の背景等	乳幼児の保護者	地域とのつながりの実態や食
を探る)		生活に配慮し始めたきっかけ
		等
	20~30 歳代の男性喫煙	喫煙開始年齢や動機、禁煙へ
	者	の思い等
心の健康について話し合いを深	企業の健康管理担当者	働き世代のメンタルヘルスの
めるために職域の実態を知る		実態等

(2)調査方法・内容

対象者	調査方法	内容
40~50 歳代女性	「女性の健康に関する講演会」	・近所の人とのつながりを望んで
	の参加者のうち、調査協力の了	いるか、必要と感じているかな
	解を得られた8名	ど、地域についての思い
	参加者を 2 グループに分け、そ	・健(検)診を受けるまたは受け
	れぞれに職員 2 名が入り聞き取	ない理由、どうしたら健(検)
	りを行った	診を受けようと思うかなど
乳幼児の保護者	子育てサークルに参加している	・近所の人とのつながりを望んで
	母親から、調査票に基づいて聞	いるか、必要と感じているかな
	き取りを行った	ど、地域についての思い
		・食生活に気をつけようと思った
		きっかけや、学びなおしの方法
20~30 歳代の男性	昼休み時間に、喫煙所にいた	・タバコを吸い始めた年齢ときっ
喫煙者	20~30 歳代の男性職員 5 名に聞	かけ
	き取りを行った	・禁煙についての思い
		・朝食摂取の実態
企業の健康管理担	企業に出向き、聞き取りを行っ	・心の問題を抱える社員の事例
当者	た	

(3)調査の結果

①地域とのつながりについて

アンケート調査から見えたこと	聞き取り内容
・地域とのつながりが必要だと感じてい	・乳幼児をもつ保護者、40~50歳代女性いずれ
るが、実際に地域とのつながりが強い	も地域とのつながりの必要性を感じ、同年代
と感じている人は少ない	の人とだけでなく様々な世代の人とつなが
	りたいと感じている。
	・今は育児に追われて余裕が無くても、将来的
	には地域の役に立ちたいと思っている。
	・アパートや社宅だと近所の人と深く関わろう
	とは思わない。

②健(検)診について

アンケート調査や統計から見えたこと	聞き取り内容		
・成人になると健(検)診の受診率が下	・健診の内容やかかる費用等の情報を知らない		
がる	ために受けない人がいる。		
・市が行う特定健康診査、がん検診の受	・周囲にがんになった人が増えてきて、がんの		
診率が低い	怖さを知っているので受けようと思う。		

③喫煙について

アンケート調査や統計から見えたこと	聞き取り内容		
・小・中学生、高校生と学年が上がるに	・たばこは 10 歳代の頃から、周りの人に誘わ		
つれ、たばこの害を知っている人は増	れて興味本位で吸い始める人が多い。		
えるが、将来たばこを吸いたくないと	・特にやめるきっかけが無いため、吸い続けて		
思う人は減り「わからない」と迷う人	いるという声が多かった。		
が増える			

④食生活について

アンケート調査から見えたこと

- ・20 歳代の朝食摂取率が低いことや、野菜料理を摂取している人の割合が低いなど、20歳代の食生活が気になる
- ・女性は30~40歳代になると栄養バランスへの配慮等食生活に関する項目が20歳代より改善している

聞き取り内容

- ・乳幼児をもつ保護者は妊娠や出産を機会に、 食生活を見直している人が多い。
- ・食生活の学びなおしに本や雑誌を利用してい る人が多い。
- ・20 歳代男性の中には、運動をする日だけ朝食 を食べるなど、朝食摂取の必要性を理解して いない人もいる。
- ・家族と一緒に住んでいる人は、家族と一緒に 朝食を食べている。

⑤働く世代の心の健康について

アンケート調査から見えたこと

- ・働く世代では悩みやストレスがある人が多い
- ・40~50 代の男性は他の世代に比べ、 困った時に相談できる人がいる割合が 低い

聞き取り内容

- ・40~50 代歳の働き盛りの人で、元々は心も健康で仕事がよくできる人でも、責任ある立場になる事や仕事でのミスをきっかけに、心の不調が生じている。
- 特に男性は家族には心配させたくないため相談できないと考えている人もいる。
- ・周りが早く気付いて対応することで回復につ ながる。

2 健やかほうふ21計画(第2次)策定委員会設置要綱

健やかほうふ21計画(第2次)策定委員会設置要綱

平成26年6月1日制定

(目的及び設置)

- 第1条 「健やかほうふ21計画(第2次)」(以下「計画」という。)を策定するにあたり、広く市民の意見、提言等を計画に反映するため、「健やかほうふ21計画(第2次)策定委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。(組織)
- 第2条 委員会は、委員25人以内をもって組織し、委員は、次に掲げる者の 内から市長が委嘱する。
 - (1) 学識経験者
 - (2) 民間団体等の代表者
 - (3) 行政機関関係者
 - (4) 公募による者

(任期)

第3条 委員の任期は、計画の策定が終了するまでとする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

- 第4条 委員会の会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。 (会議)
- 第5条 委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。
- 2 会長は、必要と認める場合において、委員以外の者の委員会への出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(専門部会)

- 第6条 委員会は、必要があると認めるときは、専門部会を置くことができる。
- 2 専門部会は、委員で構成される。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、健康福祉部健康増進課が行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附則

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

3 健やかほうふ21計画(第2次)策定委員名簿

(敬称略:順不同)

	区分	団 体 名	氏 名
1	学識経験者	学識経験者(山口県立大学看護栄養学部)	○藤村 孝枝
2		防府医師会	◎山本 一成
3		防府歯科医師会	杉山 浩一郎
4		防府薬剤師会	福田 淳子
5		防府市自治会連合会	豊田 陽子
6		防府市民生委員・児童委員協議会	松田 孝子
7		防府市老人クラブ連合会	末富 喜美子
8		防府市社会福祉協議会	山本 亨
9		防府商工会議所	原田 明
10		株式会社 丸久	田中 靖士
11	民間団体等の代表者	防府市保育協会	防川 京子
12		防府市幼稚園連盟	寺内 淳
13		防府市PTA連合会	渡邉 雅文 (~H27.5月) 田村 直之 (H27.6月~)
14		山口県漁業協同組合	内藤 寛志
15		防府とくぢ農業協同組合	宇多村 史朗 (~H27.8.6) 國澤 雅彦 (H27.8.7~)
16		防府市食生活改善推進協議会	宇野 武子
17		防府市母子保健推進協議会	池永 悦子
18	行动搬用用板≠	防府市小学校教育研究会養護教諭部会	中村 安都子
19	行政機関関係者	山口県山口健康福祉センター防府支所	松永 隆子
20		公募委員	井手 健
21	公募委員	公募委員	木原 多己江
22		公募委員	吉岡 恵美

◎会長 ○副会長

4 健やかほうふ21計画(第2次)部会名簿

(敬称略:順不同)

	団 体 名		氏 名	部会
1	防府歯科医師会	◎杉山	浩一郎	
2	防府市保育協会	防川	京子	
3	山口県漁業協同組合	内藤	寛志	食べよう
4	防府とくぢ農業協同組合		t 史朗 (~H27. 8. 6) 雅彦 (H27. 8. 7~)	
5	防府市食生活改善推進協議会	宇野	武子	
6	防府商工会議所	◎原田	明	
7	防府市自治会連合会	豊田	陽子	
8	防府市民生委員・児童委員協議会	松田	孝子	動こう
9	防府市社会福祉協議会	山本	亨	
10	公募委員	井手	健	
11	防府市幼稚園連盟	◎寺内	淳	
12	防府医師会	山本	一成	
13	株式会社 丸久	田中	靖士	守ろう
14	防府市小学校教育研究会養護教諭部会	中村	安都子	
15	公募委員	木原	多己江	
16	公募委員	◎吉岡	恵美	
17	防府薬剤師会	福田	淳子	
18	防府市老人クラブ連合会	末富	喜美子	楽しもう
19	防府市PTA連合会		雅文 (~H27.5月) 直之 (H27.6月~)	
20	防府市母子保健推進協議会	池永	悦子	

◎部会長